

「気管支喘息に関する意識調査」

参考資料

I. 調査設計

II. 調査結果

I. 調査設計

調査目的 喘息患者の治療の実態・意識を定量的に把握する

調査手法 インターネット調査(楽天インサイト疾患パネル)

調査地域 全国

リクルート条件

- 喘息と診断されてから 10 年以上が経過している
- ICS/LABA 配合剤を使用している

サンプル数 330 件

性別/年代別
サンプル数

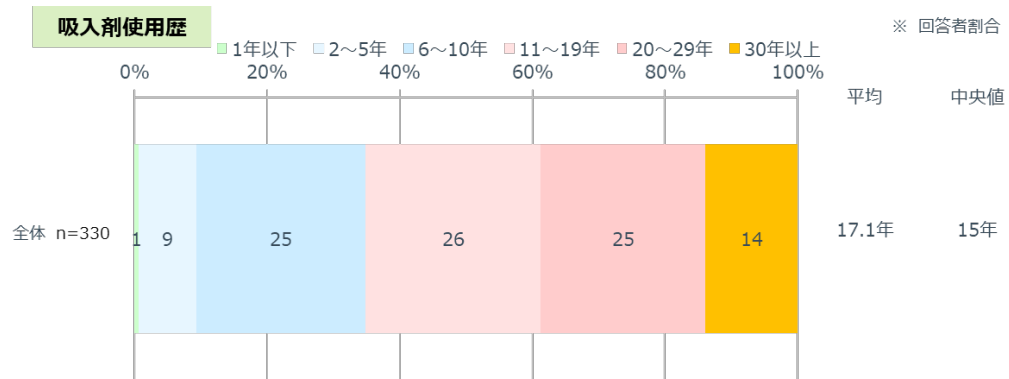
性別	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代
330件	210件	120件	8件	35件	81件	104件	69件	33件

調査期間 2020年 7月 13日～7月 16日

II. 調査結果

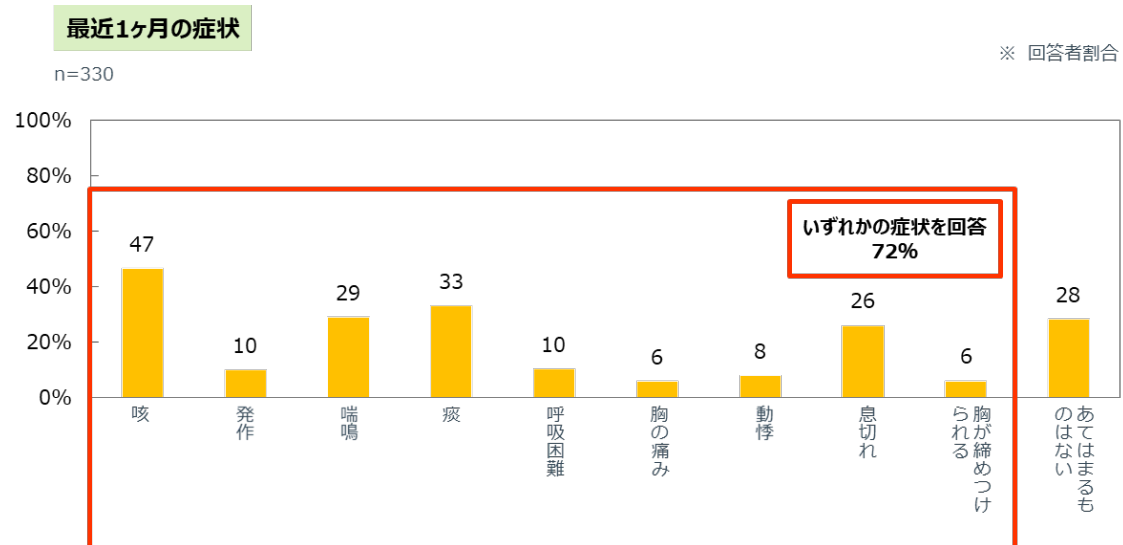
Q1.

吸入剤の使用歴（喘息治療で初めて吸入剤を処方されてからの年数）をお知らせください。



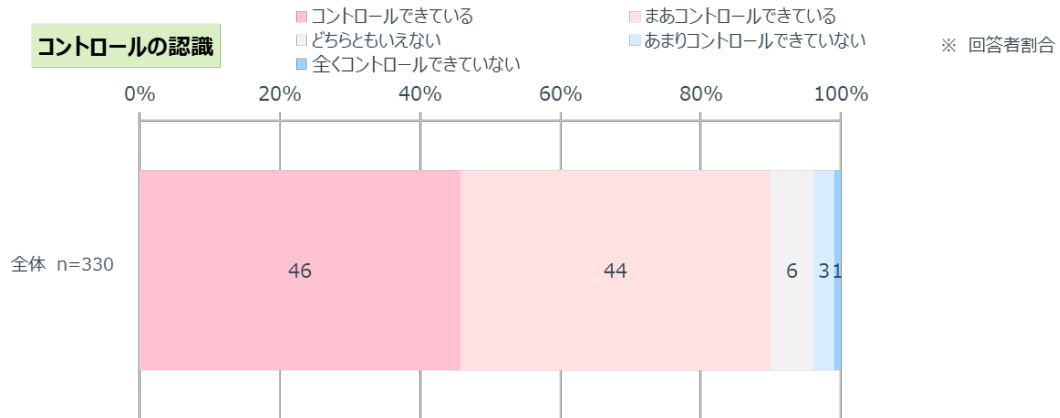
Q2.

最近 1 ヶ月の間にあった症状としてあてはまるものを全てお知らせください。



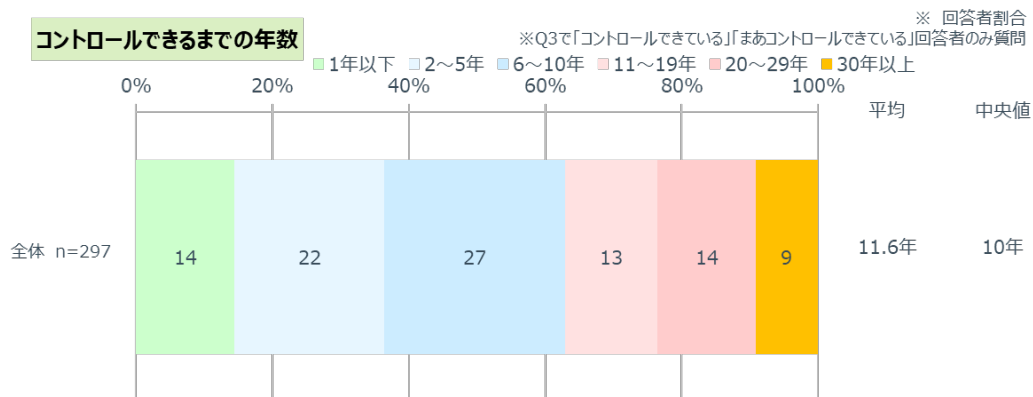
Q3.

現在、ご自身の喘息をコントロールできていると思いますか？



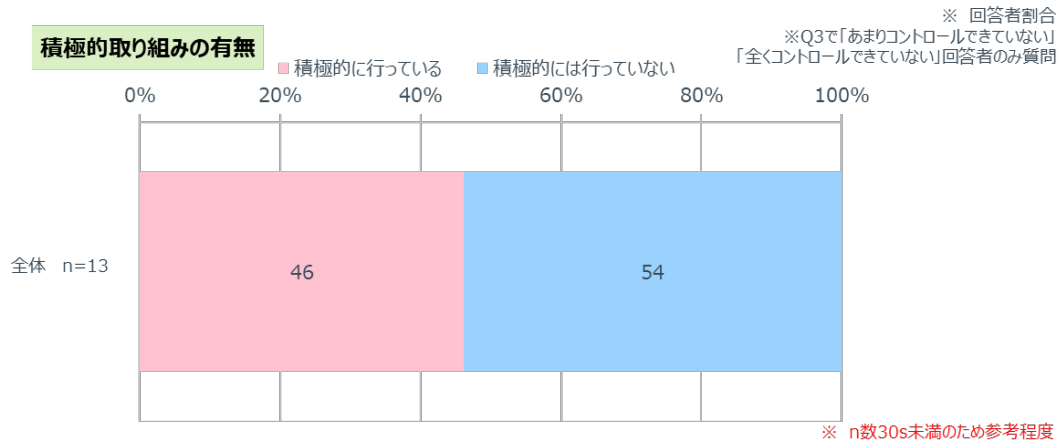
Q4.

現在ご自身の喘息をコントロールできていると回答されましたが、喘息をコントロールできるようになるまでに何年ほどかかりましたか？喘息と診断されてからコントロールできるようになるまでにかかった年数でご回答ください。



Q5.

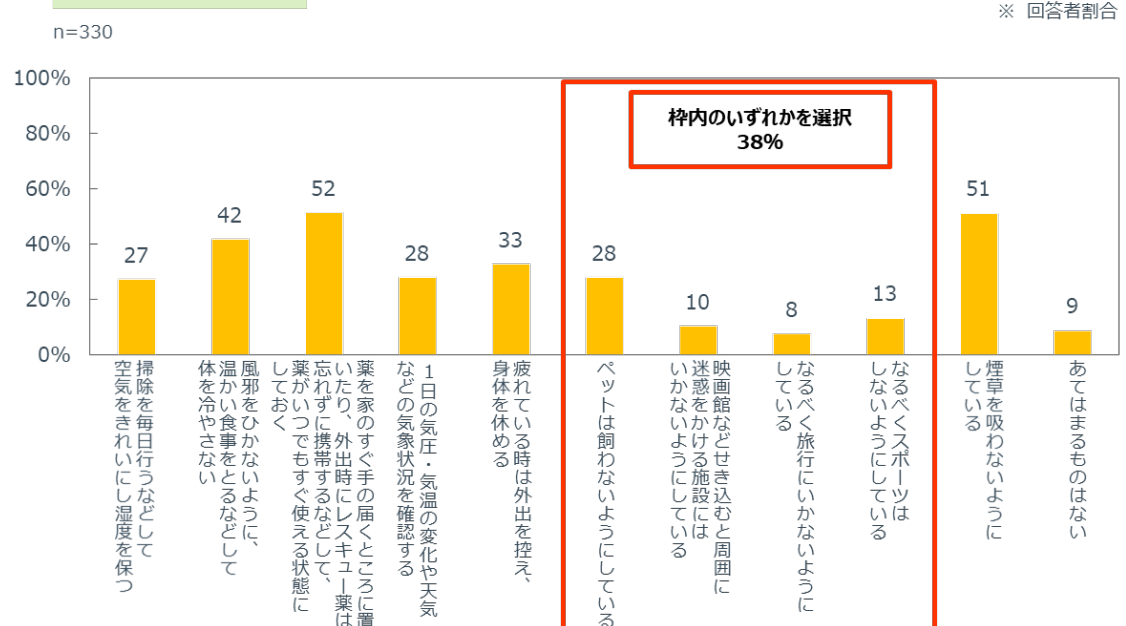
現在ご自身の喘息をコントロールできていないと回答されましたが、よりよい治療法の探索や医師への相談など、コントロールできるようになるための取り組みを積極的に行っていますか。



Q6.

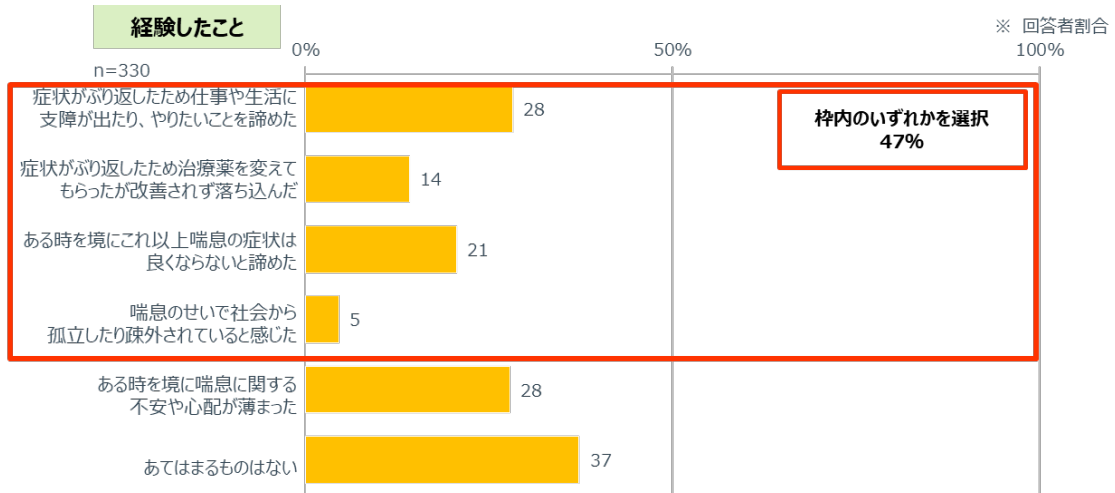
あなたが日常生活で喘息のために行っていることとして、あてはまるものをすべてお知らせください。

日常生活で行っていること



Q7.

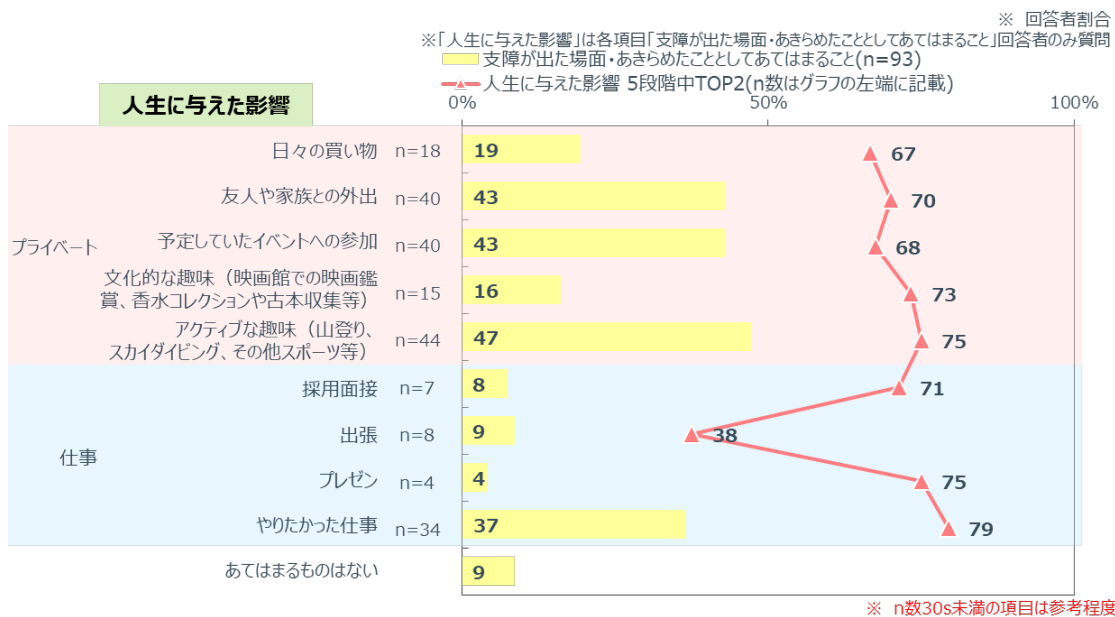
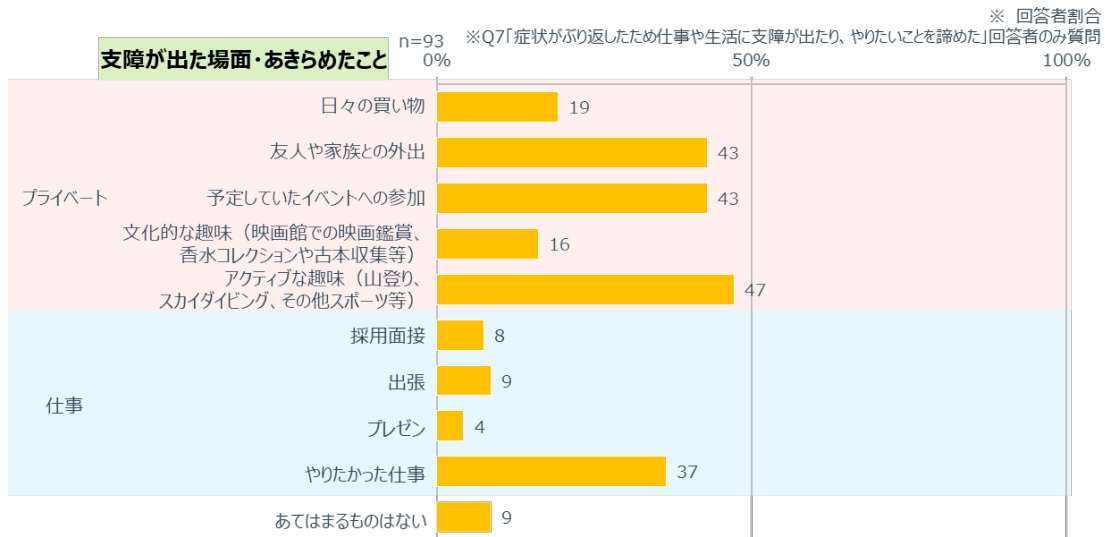
喘息の治療を開始してから、これまでに経験されたことがあるものとして、あてはまるものを全てお知らせください。



Q8.

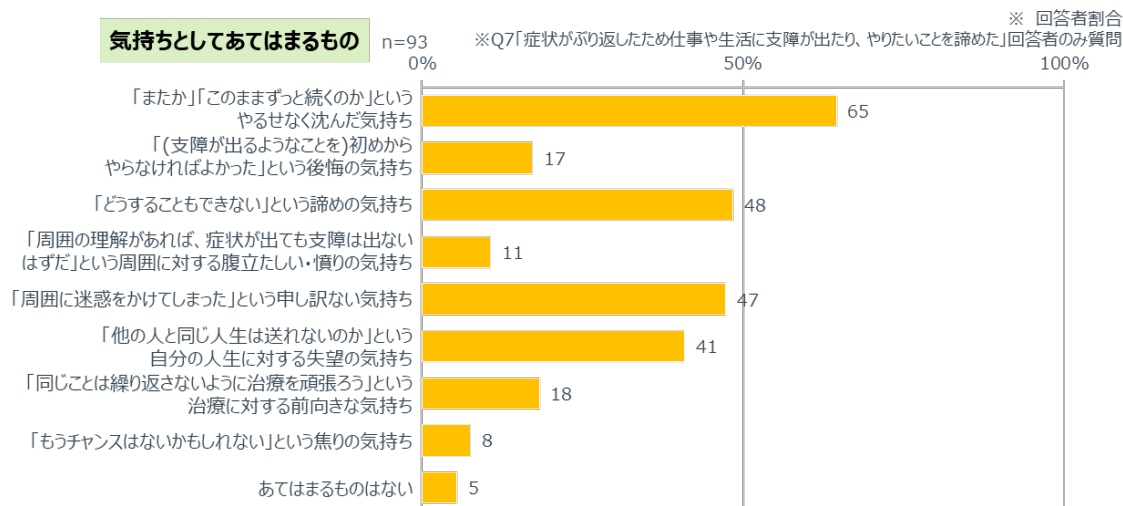
先ほど「症状がぶり返したため仕事や生活に支障が出たり、やりたいことを諦めた」と回答されましたが、支障が出た場面や諦めたこととしてあてはまるものを全てお知らせください。

また選択された項目それぞれについて、あなたの人生に及ぼした影響の度合いをお知らせください。



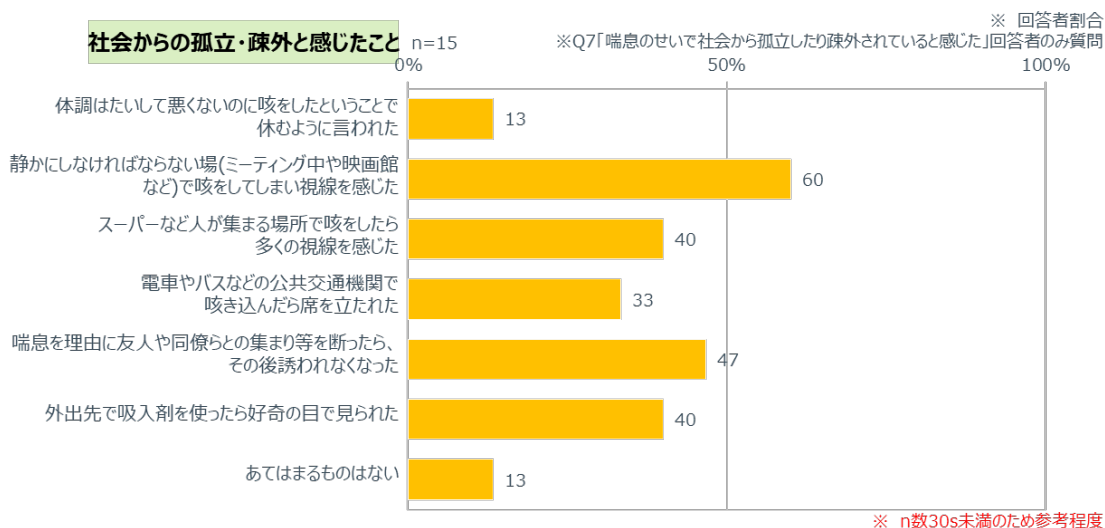
Q9.

「症状がぶり返したため仕事や生活に支障が出たり、やりたいことを諦めた」ときに感じる気持ちとしてあてはまるものを全てお知らせください。



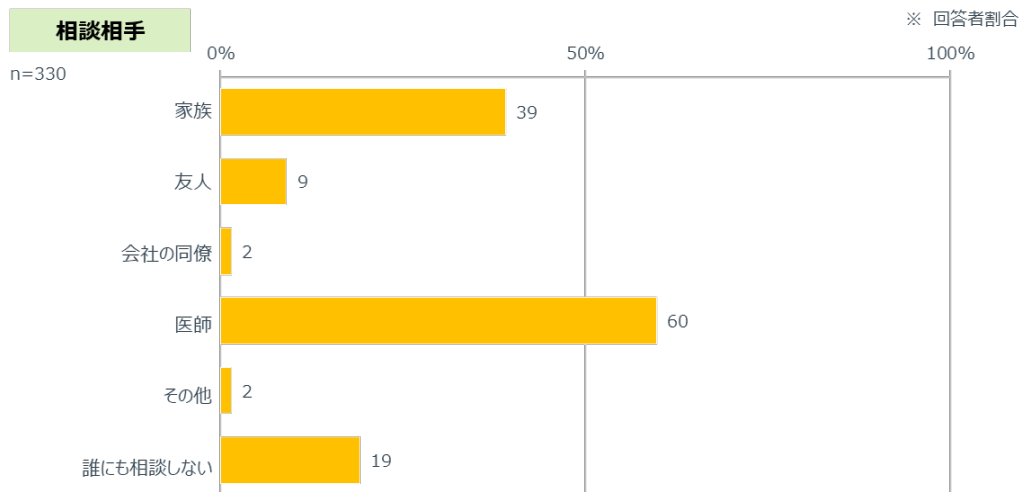
Q10.

先ほど「喘息のせいで社会から孤立したり疎外されていると感じた」と回答されましたが、あなたが実際に経験したものとしてあてはまるものを全てお知らせください。



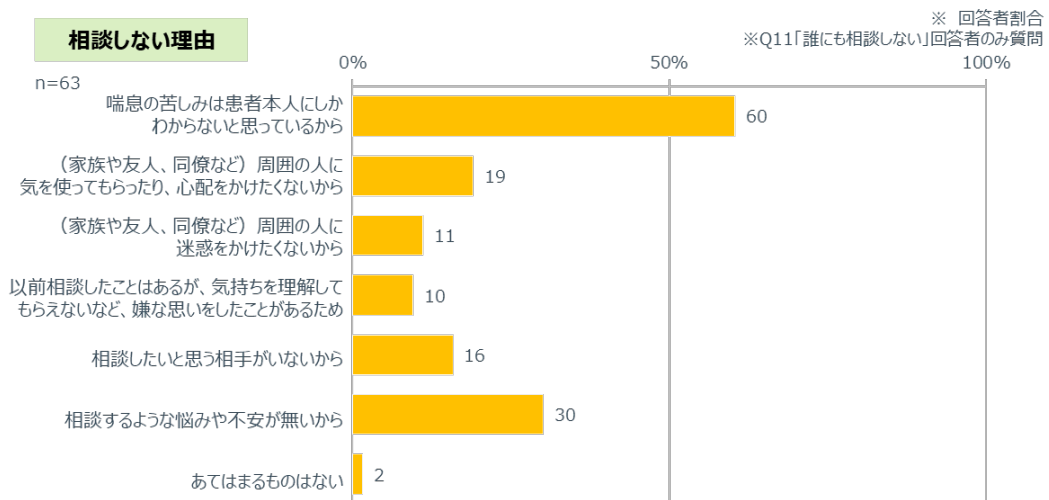
Q11.

喘息の治療で悩みや不安があるときに、誰かに相談されますか。
相談する相手としてあてはまるものを全てお選びください。



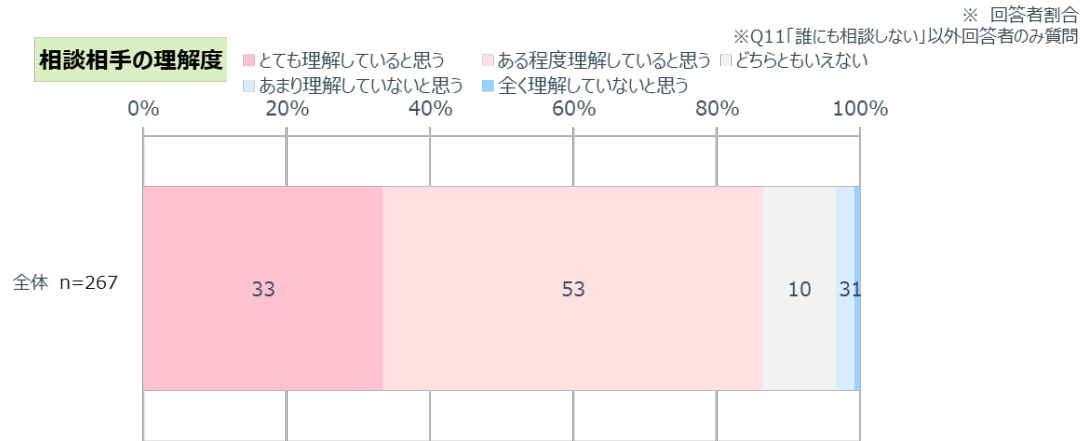
Q12.

喘息治療の悩みや不安を誰にも相談しない理由として、あてはまるものを全てお選びください。



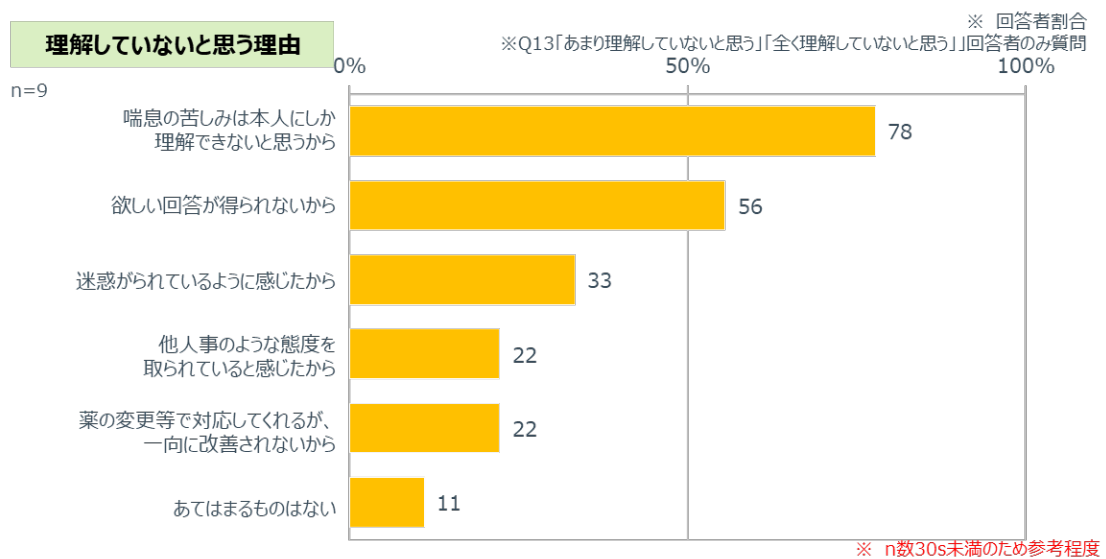
Q13.

先ほど喘息の治療で悩みや不安があるときの相談相手をご回答いただきましたが、その方々は喘息に関するあなたの悩みや不安を理解していると思いますか。



Q14.

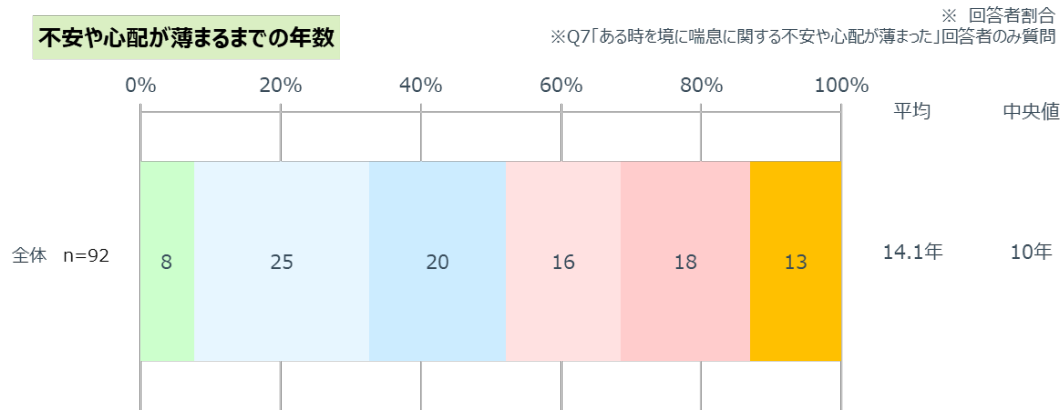
相談相手が喘息に関するあなたの悩みや不安を理解していないと思う理由として、あてはまるものを全てお選びください。



Q15.

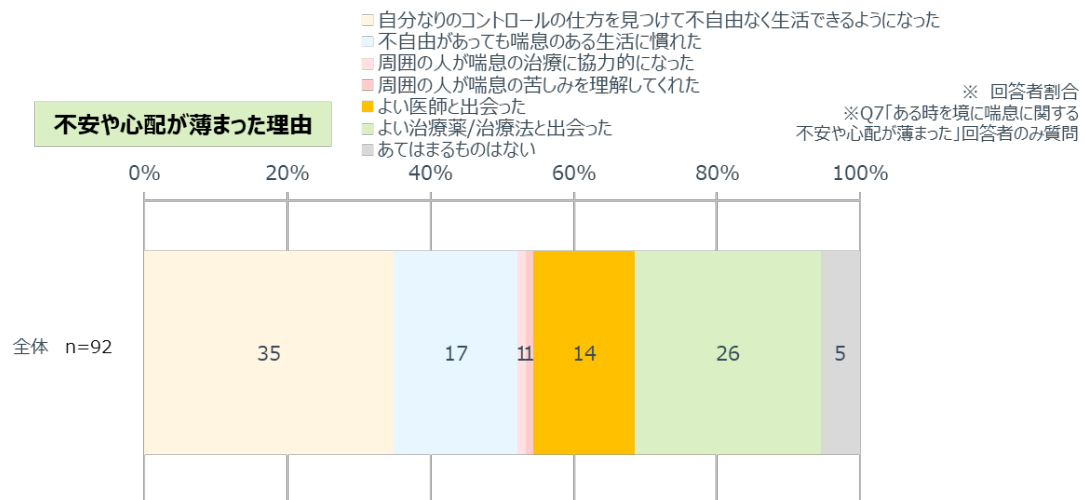
先ほど「ある時を境に喘息に対する不安や心配が薄まった」と回答されましたが、喘息に対する不安や心配が薄れていくまでに何年ほどかかりましたか？

喘息と診断されてから喘息に対する不安や心配が薄れていくまでにかかった年数でご回答ください。



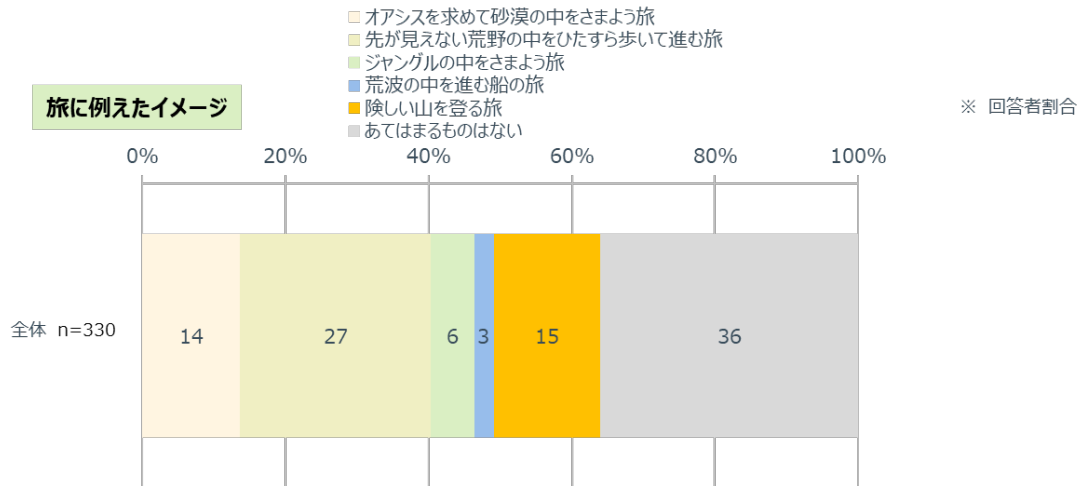
Q16.

喘息に対する不安や心配が薄まった理由としてあてはまるものをお知らせください。



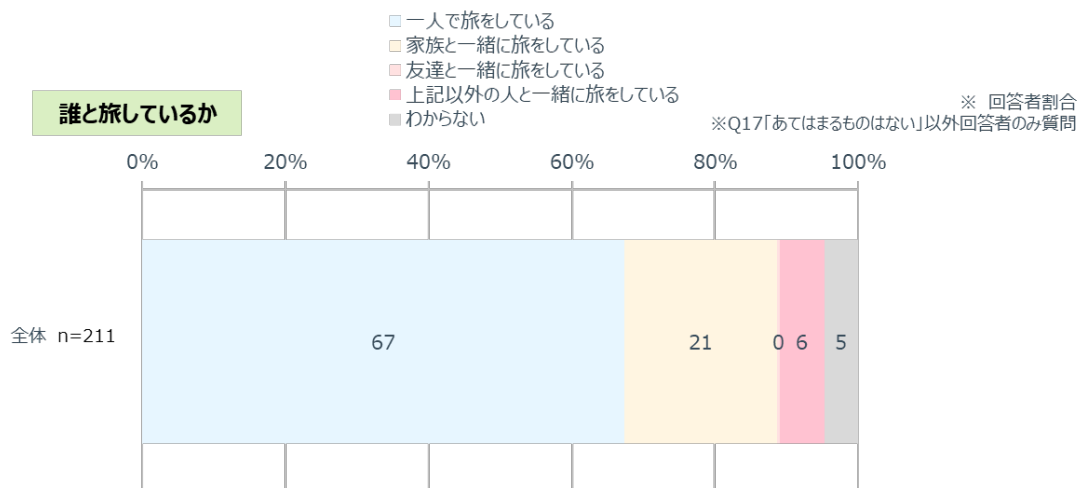
Q17.

これまでのあなたの喘息治療の経験を、仮に旅に例えたとして、最もイメージに近いと思われるものを1つお選びください。



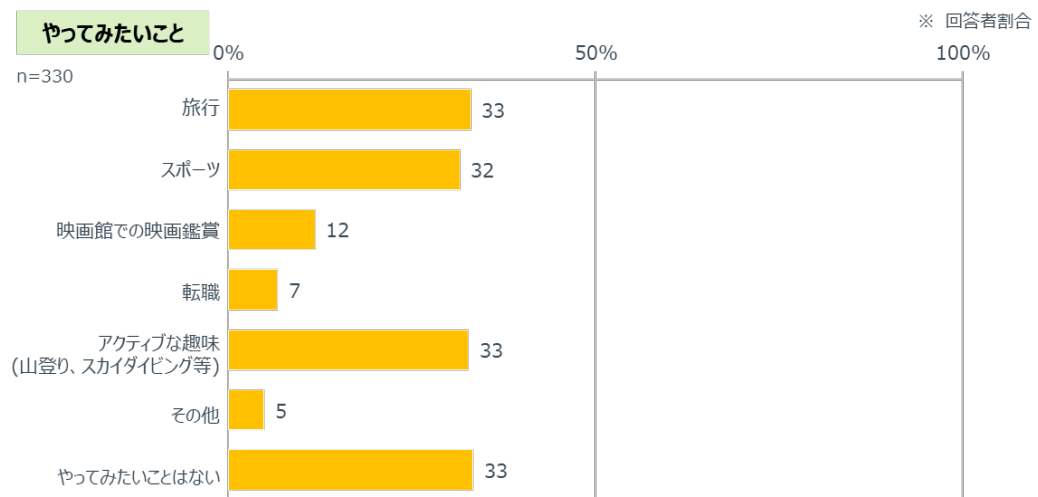
Q18.

先ほど、ご自身の喘息治療の経験を旅に例えたとき表現として最も当てはまるものは Q17 再掲 とご回答されましたが、その例えのイメージの中で、あなたは一人で旅をしていらっしゃいますか。あるいは他の誰かと一緒に旅をしていらっしゃいますか。あてはまるものを一つお選びください。



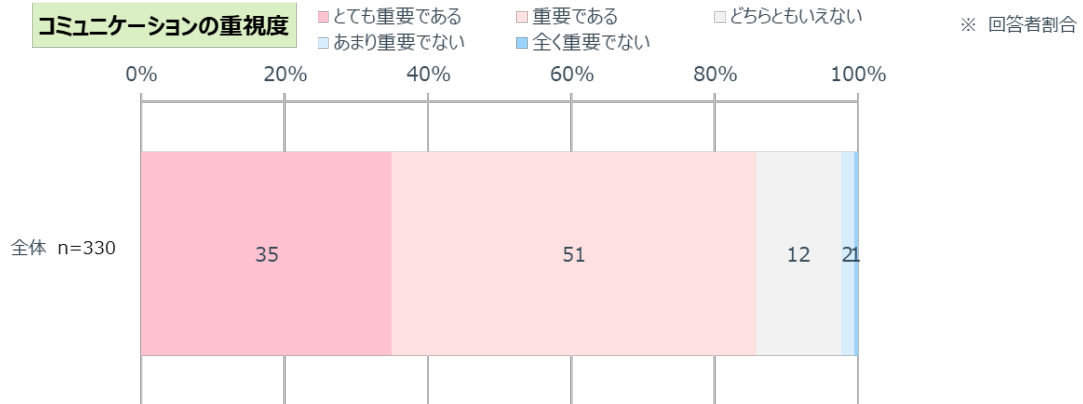
Q19.

もし喘息が今よりもコントロールできるようになったら、やってみたいこと、あるいは今まで以上に楽しみたいことはございますか。あてはまるものをすべてお知らせください。



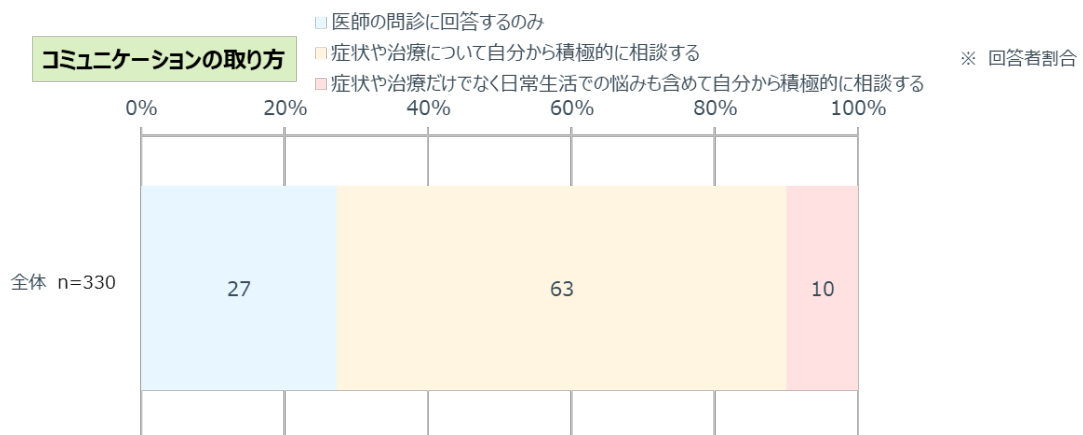
Q20.

あなたの喘息の治療において、医師とのコミュニケーションはどの程度重要とお考えですか。



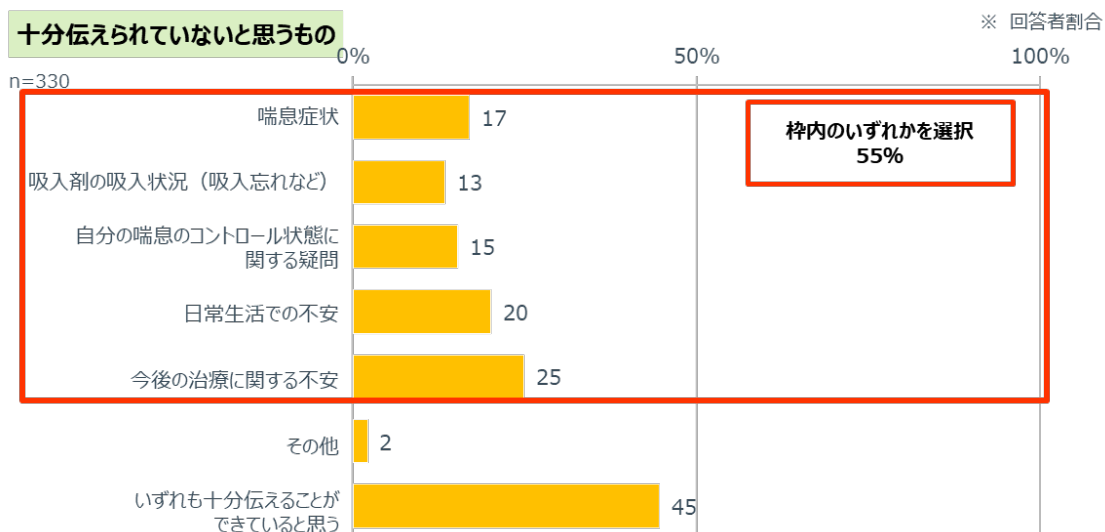
Q21.

あなたはこれまでの喘息の治療において、医師とどのようにコミュニケーションを取ってこられましたか。



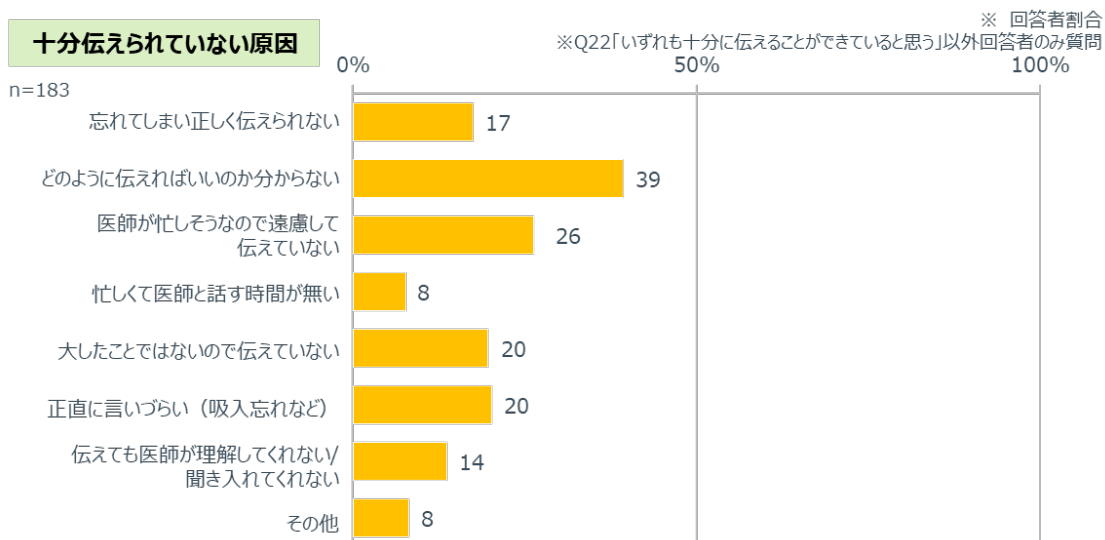
Q22.

喘息に関し、あなたが医師に十分伝えることができていると思うものを全てお知らせください。



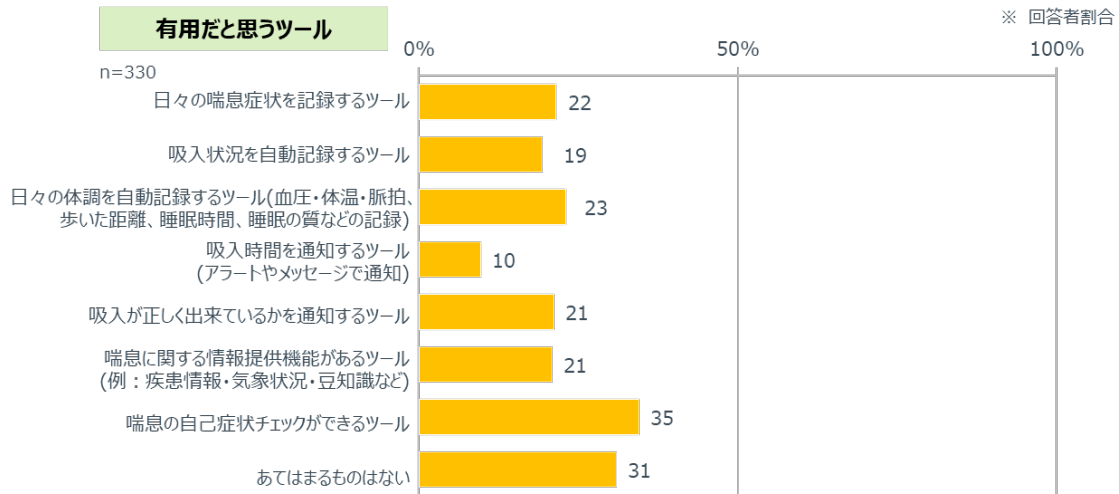
Q23.

喘息に関し、あなたが医師に十分伝えることができていることがある理由として、あてはまると思うものを全てお知らせください。



Q24.

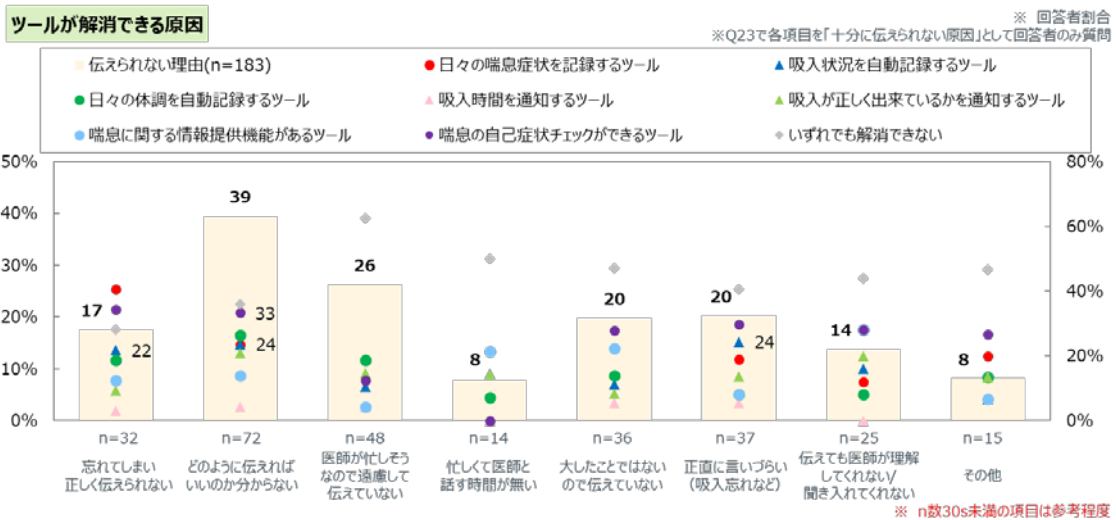
喘息に関する医師とのコミュニケーションにおいて有用だと思われるツールを全てお知らせください



Q25.

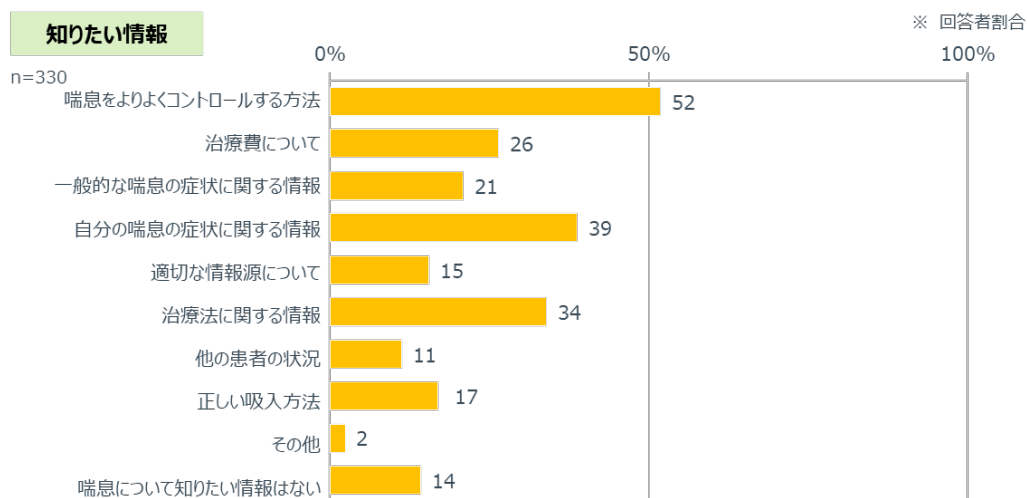
ご回答いただいた医師とのコミュニケーションにおいて有用だと思われるツールがあれば、「喘息に関し、あなたが医師に十分伝えることができていないことがある理由」は解消されると思われますか。解消されると思う理由を全てお選びください。

(回答はタテにいくつでも)



Q26.

喘息に関して知りたいと思う情報を全てお知らせください。



Q27.

あなたが喘息についての情報を収集する際の情報源としてあてはまるものを全てお知らせください。

